

II. 事業計画及び予算

1. 平成23年度事業計画(総括)

I. 事業の内容

法人の目的を遂行するために次の事業を行う

1. 学術大会及び学術教育事業

- 1) 第60回(社)全日本鍼灸学会学術大会(東京大会)の開催
研究発表と学識経験者による講演
平成23年6月19日の1日間:東京有明医療大学 講堂
- 2) 支部学術集会及び支部研修会の開催
- 3) 学術部委員会の開催:学術部事業の協議、実施
- 4) 抄録審査委員会(小委員会)の開催:学術大会の一般発表応募抄録の審査
- 5) 研究者養成のためのセミナーの開催

2. 学会雑誌の発行事業(学会誌、学術図書及び資料の刊行)

- 1) 全日本鍼灸学会雑誌の発行:年4回発行(61巻2号~62巻1号)
- 2) 学会報の発行(学会雑誌に併載):121号~124号
- 3) 編集部委員会の開催:平成23年3月、6月、9月、11月の4回
- 4) 電子投稿への移行検討、投稿規定の改定

3. 調査研究事業(調査研究の実施)

- 1) 研究部委員会の開催:研究部事業の協議・実施
- 2) 研究専門委員会:公募研究の助成
- 3) データベース委員会:データベースを利用した研究支援
- 4) 鍼灸医療推進研究会の調査研究への協力
- 5) 学術専門委員会としてデータベースの充実、維持管理、文献評価研修会の継続
- 6) 東洋療法研修試験財団の受託研究の実施
- 7) 鍼灸の有効性・安全性・経済性に関する情報の収集と発信
- 8) ISO/TC249対策及びJLOM関連委員会への協力

4. 学術交流事業(内外関連学協会との連絡及び協力)

- 1) 国際部会の開催
- 2) 国際学術交流
 - ① WHO及びWFAS、JLOMへの対応、協力
 - ② 国際学会派遣:各国関連学協会との交流
 - ③ 日・中・韓。その他との学術交流
 - ④ 海外鍼灸関連情報の収集と日本への紹介:「世界の鍼灸コミュニケーション」
 - ⑤ 日本鍼灸関連情報の海外への紹介
- 3) 国内関連学会との連絡及び協力
 - ① 国内の関連学会との交流及び協力
- 4) 海外からの見学者受付システム運営
- 5) JLOM関連委員会
 - ① ISO/TC249及びTC215における鍼灸領域の国際標準策定会議への参加

- ②国内及び国外における鍼灸領域の標準策定の現状調査
- ③伝統医学の国際標準策定の現況に関する啓蒙活動の実施
- ④標準策定に関する関係省庁への連絡
- ⑤WHO、WPROにおける国際標準策定の現況調査と協力
- ⑥JLOM関連委員会開催
- 5. 研究の奨励及び研究業績の表彰
 - 高木賞選考委員会の開催及び高木賞の授与
- 6. 組織の拡充及び支部活動事業（組織拡充及び支部活動の助成）
 - 1)入会審査の実施
 - 2)入会促進活動：関連学会への入会金免除による入会促進
 - 3)学生会員から正会員への切り替え促進活動(優遇措置)
 - 4)支部活動の支援
 - 5)支部運営委員会の開催
 - 6)関連学校優秀卒業生への会長表彰
- 7. 広報活動の充実
 - 1)Webの維持管理：サーバーの維持管理
 - 2)ホームページ内容の更新管理及びデザイン・内容変更
 - 3)英語版ホームページの作成
 - 4)会員頒布用小冊子作成：「基礎と臨床の交流」
 - 5)アンケート調査の実施
 - 6)一般向け・会員向け・海外向け案内パンフレットの作成
 - 7)学会情報の伝達：メルマガ・学会誌への折り込み・FAX通信による会員周知
 - 8)広報部会の開催
- 8. 認定委員会
 - 1)認定講習の審査
 - 2)認定委員会・認定審査委員会・認定実務委員会・認定試験委員会の開催
 - 3)支部学術集会・A研修講座への助成
- 9. その他目的を達成するために必要な事業
 - 1)新公益法人に向けての取り組み
 - 2)公益法人新会計基準による経理処理
 - 3)鍼灸医学の啓蒙と普及：一般向けの公開講座、講演会の開催
 - 4)会員の資質向上のための事業
 - 5)鍼灸医療推進研究会への参加
 - 6)鍼灸師養成施設新卒業生への会長表彰状の作成・発送
 - 7)会員証(JCBビジネスカード)の取得促進

II. 会議の内容

会務を円滑に運営するために次の会議を行う

- 1. 通常総会 平成23年 6月19日(日)：東京有明医療大学
- 2. 評議員会
 - 1)平成23年 6月18日(土) : 東京有明医療大学
 - 2)平成24年 3月20日(火・祝) : 日本鍼灸会館

3. 理 事 会

- 1) 平成23年 6月18日(土) : 東京有明医療大学
- 2) 平成23年 7月31日(日) : 日本鍼灸会館
- 3) 平成23年10月30日(日) : 日本鍼灸会館
- 4) 平成24年 2月 5日(日) : 日本鍼灸会館
- 5) 平成24年 3月20日(火・祝) : 日本鍼灸会

4. 常務理事会

- 1) 平成23年10月30日(日) : 日本鍼灸会館
- 2) 平成24年 2月 5日(日) : 日本鍼灸会館

5. 支部運営委員会

- 1) 平成23年 7月31日(日) : 日本鍼灸会館
- 2) 平成23年10月30日(日) : 日本鍼灸会館
- 3) 平成24年 2月 5日(日) : 日本鍼灸会館
- 4) 平成24年 3月20日(火・祝) : 日本鍼灸会館

6. 定款等改正検討委員会

- 1) 平成23年 4月10日(日) : 日本鍼灸会館
- 2) 平成23年 5月15日(日) : 日本鍼灸会館
- 3) 平成23年 8月27日(土) : 日本鍼灸会館
- 4) 平成23年11月26日(土) : 日本鍼灸会館
- 5) 平成24年 1月29日(日) : 日本鍼灸会館
- 6) 平成24年 3月17日(土) : 日本鍼灸会館

7. その他の会議

- 1) 認定委員会
- 2) スポーツ鍼灸委員会
- 3) 施術事故等緊急対策連絡会
- 4) 予算検討委員会
- 5) 各部委員会及び各部小委員会

III. 諸規則の制定及び改定に関すること

1. 諸規則の改定
2. 文部科学省への報告
3. 新公益法人移行のための定款改正案の作成

2. 平成23年度 各部事業計画

1) 平成23年度 事務局事業計画

I. 会務運営のための諸会議に関すること、及び会議録の作成並びに保管

1. 通常総会 平成23年 6月 19日(日)：東京有明医療大学 3階 講堂
2. 評議員会
 - 1)平成23年 6月 18日(土) : 東京有明医療大学 306教室
 - 2)平成24年 3月 20日(火・祝)：日本鍼灸会館
3. 理事会
 - 1)平成23年 6月 18日(土) : 東京有明医療大学 301教室
 - 2)平成23年 7月 31日(日) : 日本鍼灸会館
 - 3)平成23年10月 30日(日) : 日本鍼灸会館
 - 4)平成24年 2月 5日(日) : 日本鍼灸会館
 - 5)平成24年 3月 20日(火・祝)：日本鍼灸会館
4. 常務理事会
 - 1)平成22年10月 30日(日) : 日本鍼灸会館
 - 2)平成23年 2月 5日(日) : 日本鍼灸会館
5. その他の会議
 - 1)支部運営委員会
 - ①平成23年 7月 31日(日) : 日本鍼灸会館
 - ②平成23年10月 30日(日) : 日本鍼灸会館
 - ③平成24年 2月 5日(日) : 日本鍼灸会館
 - ④平成24年 3月 20日(火・祝)：日本鍼灸会館
 - 2)定款等改正検討委員会
 - ①平成23年 4月 10日(日)：日本鍼灸会館
 - ②平成23年 5月 15日(日)：日本鍼灸会館
 - ③平成23年 8月 27日(土)：日本鍼灸会館
 - ④平成23年 11月 26日(土)：日本鍼灸会館
 - ⑤平成24年 1月 29日(日)：日本鍼灸会館
 - ⑥平成24年 3月 17日(土)：日本鍼灸会館
 - 3)鍼灸学術団体協議会
 - 4)認定委員会
 - 5)スポーツ鍼灸委員会
 - 6)施術事故等緊急対策連絡会
 - 7)予算案検討委員会
 - 8)各部委員会及び各部小委員会

II. 庶務、事務所及び職員に関すること

1. 事務管理部門の強化及び職務分担による運営の合理化
2. 事務所備品、事務消耗品等の在庫管理

3. 会員データベースの管理
4. 情報ネットワーク網の整備

III. 官公庁及び鍼灸関連団体との渉外に関すること

1. 官公庁、諸団体からの文書、書簡の整理、保管及び対応
2. 文科省への出向、書類提出
3. 鍼灸関連団体との連絡調整

IV. 理事会・評議員会の自己点検・自己評価の導入に関すること

1. 自己点検・自己評価システムの導入に関する検討

V. その他、他部の所管に属さない事項

2) 平成23年度 学術部事業計画

I. 学術部の基本方針

学術部は、①分かりやすい、②聞きやすい、③参加しやすいを基本方針として学術大会、学会作りに努力する。そのために以下の事業を計画した。

II. 平成23年度事業計画

1. 学術部委員会の開催（年2回予定）
学術部の基本方針、事業計画案及び具体的なアクションプランを策定するために委員会を開催する。
2. 学術大会について
 - 1) 第60回(社)全日本鍼灸学術大会(関東支部)の準備開催支援(平成23年、2011年)
 - 2) 第61回(社)全日本鍼灸学術大会(中部支部)の準備支援(平成24年、2012年)
 - 3) 第62回(社)全日本鍼灸学術大会の(九州支部)の準備支援(平成25年、2013年)
 - 4) 第63回(社)全日本鍼灸学術大会の開催地決定について
※学術大会運営規定の見直しと支部運営委員会における開催地決定の調整
3. 支部学術集会について
支部の学術集会が充実・発展するよう相談・協力等の支援を行う。
4. 鍼灸学術団体協議会について
平成22年度に引き続き開催予定
5. その他学術に関すること
 - 1) 高木賞選考委員会の開催
規程に従って委員会を開催する。
 - 2) 抄録審査について
抄録審査委員会の下部組織である抄録審査小委員会が実施する。
 - 3) その他
 - (1) 学生ポスター発表の開催に向け準備
 - (2) サテライトステップアップセミナーの開催
 - (3) 研究者養成のためのセミナー（ステップアップ鍼灸臨床研究）の開催

3) 平成23年度 研究部事業計画

I. 鍼灸の研究に関すること

1. 研究専門委員会（H22/23年度公募研究助成グループ）への助成
2. 重点テーマを設定した研究助成公募の実施
3. 第60回学術大会でのワークショップ開催
4. 第3回国際シンポジウム（四日市）の開催準備
5. データベース委員会のデータベースを利用した研究基盤・研究支援環境の整備
6. 鍼灸医療推進研究会活動の継続または継承
7. 東洋療法研修試験財団の受託研究への助言・協力

II. 鍼灸の教育・啓発に関すること

1. データベース委員会活動を通じた若手研究者の育成
2. 鍼灸データベースの充実、維持管理、文献評価研修会の継続
3. 海外の鍼灸診療ガイドラインに関する調査と紹介
4. 鍼灸の有効性・安全性・経済性に関する情報の収集と発信

III. その他

1. 2011 学術大会つくば大会プログラム委員会への出席と協力
2. 2012 三重大会企画調整委員会・実行委員会への出席と協力
3. 国際部 and/or 学術部 and/or JLOM関連委員会との共同作業
鍼灸関連器具の規格と安全性に関するデータ収集
大韓鍼灸学会（KAMS）と学術大会での研究者相互招聘による交流
ワークショップおよびセミナーの企画
国際シンポジウムの企画と準備
4. 大学・大学院・鍼灸関連団体との連携強化および学術交流のための活動
5. 医学会が作成した診療ガイドラインにおける鍼灸に対する評価の妥当性の監視

4) 平成23年度 編集部事業計画

I. 学会誌の編集、広告、発行、配布に関すること

1. 学会誌の発行
 - 1) 61巻2号（平成23年5月末発行予定）
 - 2) 61巻4号（平成23年8月発行予定）
 - 3) 61巻5号（平成23年11月発行予定）
 - 4) 62巻1号（平成24年2月発行予定）
2. Japanese Acupuncture and Moxibustion(JAM) Vol.6の発刊（平成23年2月予定）
3. 編集委員会の開催（年4回開催予定）

第1回	平成23年 3月（予定）
第2回	平成23年 6月（予定）
第3回	平成23年 9月（予定）
第4回	平成23年 11月（予定）

II. 学会誌の原稿・資料の収集に関すること

1. 投稿原稿、依頼原稿の収集
2. 第59回・第60回学術大会の特別演題の原稿収集
3. その他、学会員の学術向上に寄与する解説、総説、図書紹介等の原稿依頼の収集

III. 学会報の編集、発行、配布に関すること

1. 学会誌（61巻2号、4号、5号、61巻1号）に学会報を掲載予定

IV. 学会図書及び資料の刊行に関すること

1. 必要に応じて、図書や資料を刊行する。

V. その他

1. 電子投稿への移行検討、投稿規定の改訂
2. Medlineへの登録準備

5) 平成23年度 組織部事業計画

I. 入会審査の実施

II. はき養成施設卒業生に対する会長表彰の実施

III. 学生会員の卒業生に対して正会員への切り替え促進を図る。

IV. 関連するはき養成施設の卒業生に対して入会促進を図る。

V. 関連学会（2学会）への入会金免除により、入会促進を図る。

6) 平成23年度 国際部事業計画

I. 海外鍼灸関連情報の収集と日本への紹介

1. 学会誌「世界の鍼灸コミュニケーション」シリーズ
2. 学会誌の「国際学会報告」シリーズ

II. 日本鍼灸関連情報の海外への紹介

1. Whole Medicine学会でワークショップ開催
主催：University of Maryland School of Medicine Center for Integrative Medicine,
The American Association of Acupuncture and Oriental Medicine (AAAOM)
The American Oriental Medicine Institute (AOMI)
2. 海外からの見学者受付システム運営
3. 英語版ウェブサイトコンテンツ拡充

III. 世界鍼灸学会連合会 (WFAS)、その他の国際機関への対応

1. WFAS標準化作業への対応
2. 2011年5月6～8日 International Congress of Medical Acupuncture and Related Techniques (ICMART) 学会 視察
3. 2011年 5月13～15日 Whole Medicine 学会出席
4. 2011年11月 5～ 6日 WFAS 鍼灸国際シンポジウムブラジリア大会出席
5. 海外の学会等へ学会誌寄贈

IV. 国際部会議開催

通常の国際部会議（2回程度予定）に加え、英語によるインターネット会議を月に数回開催

V. その他

1. 2011鍼灸学術大会つくば 研究部との共同ワークショップ
2. JLOM関連委員会への協力
3. 2012年JSAM国際シンポジウム開催協力

7) 平成23年度 広報部事業計画

I. Webの維持管理

1. 本会サーバーの維持管理（サーバー管理者に依頼）
2. ホームページ内容の更新管理（業者依頼・広報部員の協力）
3. ベストケースの管理
4. 学術集会・研修会情報収集及び案内

II. ホームページのデザイン・内容変更

1. 英語版のホームページを作成
2. ホームページ、案内パンフレットの翻訳に関して、業者委託検討、用語を統一する。
(WHO 国際標準用語を使用して翻訳する)

III. 会員頒布用小冊子作成

「基礎と臨床の交流」の小冊子作成。(昨年度より継続) 矢野先生と共同にて
CD-ROM作成・第60回学術大会の記念品として

IV. 海外研修生の受入の窓口

国際部と共同で海外研修生の受入を行うが、受け入れ先の紹介や外国人に対するフォローをする。
(22年度10月より行う予定)

V. アンケート調査実施

学術大会時にアンケート調査を行う。

VI. 一般向け・会員向け・海外向け案内パンフレットの作成

東京宣言の内容を発信 日本語版・英語版

Ⅶ. 会議の開催

Web会議随時。6月大会時開催予定

Ⅷ. 会員に学会情報の伝達

メールマガジン・学会誌折り込みに加え同報FAX通信を加え全会員を目標とする

8) 平成23年度 JLOM関連委員会事業計画

I. ISO/TC249における鍼灸領域の国際標準策定会議への参加

1. 第2回 Plenary meeting (5月2-4日、オランダ・ハーグ)
2. 第3回 Plenary meeting (開催日程・場所未定)

II. ISO/TC215における鍼灸領域の国際標準策定会議への参加

1. TC215 Meeting (5月23-27日、Kuopio,Finland)
2. TC215 Meeting (10月頃、韓国で開催予定)

III. 国内における鍼灸関連標準策定に関わる事業

1. 研究部との協力の下で、国内における鍼灸領域の標準策定に必要な情報の収集を行う。
2. 日本理学療法機器工業会との協力関係のもと、国内、国際における標準策定に必要な情報収集を行う。

IV. 国外における鍼灸領域の標準策定の現状調査

国際部との協力の下に、必要な調査を実施する。

V. 伝統医学の国際標準策定の現況に関する啓蒙活動の実施

1. WHO,ISOにおける国際標準策定に関わる経緯、現況、展望に関する outreach の実施
2. 医療情報学分野の標準化に関する workshop の実施

VI. WHO、WPROにおける国際標準策定の現況調査と協力

VII. JLOM関連委員会実施

VIII. 標準策定に関係する省庁への連絡

鍼灸領域の標準策定に関する報告を必要に応じて関係省庁（厚生労働省・経済産業省）に対して行う。